

# 岐阜 文学の



## 会長あいさつ

会長 今井春昭



昨年五月、将に晴天の霹靂という形にて会長の大役を拝受いたしました。手元にある2004年5月発刊の会報第1号には、小島信夫文学賞の創設に至るまでの経緯についての吉田豊会長、水谷雄二副会長のお言葉、第3回までの受賞作や作者の紹介などとともに、法人十四人、個人八十五人の会員名簿が載っています。私もこのうちの一員として名を連ねさせていただいてはおりますが、錚々たる顔ぶれの皆様の中には、名実ともに名簿の上だけの存在で、その五年間の後ろめたい気持をいま、どのようにお返しできるかと自問し続けています。

さてこの会報で吉田先生は、この文学賞の生誕と発展を「濫觴」と喻え、その後の会報2号、3号で「生の原稿」や「語り継ぐこと」の大切さを、私たちの使命として述べておられます。この文学賞が大河としての流れを持つに至るよう、会員の皆様方のお力を借りしたいと思います。そして同時に、最初の「觴を浮かべるほどの小さな流れ」を見失わないようにせねばと考えております。

どうぞ十余年にわたるこの文学賞の歴史についてご理解を賜りますとともに、「岐阜県の誇る宝物」（古田肇岐阜県知事談）として、より一層の啓発と発展にご協力いただきますよう衷心よりお願い申し上げます。

(二〇一〇年七月)

小島信夫  
文学賞の会

2010.10.15  
Vol.4

## contents

### 会長あいさつ

会長 今井春昭 ..... 1

### あいさつ

岐阜県知事 古田 肇 ..... 2

### 受賞者のことば

小島信夫文学賞 千田佳代 ..... 3

小島信夫文学賞 芳川泰久 ..... 4

岐阜県知事賞 山本健一 ..... 5

役員・理事・会員名簿 ..... 6

「小島信夫文学賞の会」会則 ..... 8

# あいさつ

岐阜県知事 古田 肇



このたび、第六回小島信夫文学賞受賞式が盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。小島信夫文学賞本賞、岐阜県知事賞を受賞されました皆さんにおかれましては、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

さて、「小島信夫文学賞」は、現代文学の最先端を切り開いてこれまで、岐阜県の誇りとする芥川賞作家・小島信夫先生の文学的功業を顕彰し、新人作家の発掘を目指すため、平成十一年に創設され、以来、六回の全国公募を通じて、本賞、知事賞を合わせ二十一名の方々が受賞されていります。

民間の団体によって創設されたこの「小島信夫文学賞」が、十数年の時を経て、岐阜県から自信を持って発信できる文学賞として着実に発展しておられること、そして、本県の文化振興を推進する上で重要な一翼を担つていただいておりますことを、改めて実感しております。

また、本誌より「小島信夫文学賞の会」の会報が一新され、機関誌「岐阜の文学」として発刊されるに至り、今後、ますますのご発展を期待しております。

「心の時代」ともいわれる今日、文学そして文化が有する意義は大変大きいものとなっております。「小島信夫文学賞の会」の皆さまにおかれましては、今後とも、本県の文化振興、そして「希望と誇りの持てるふるさと」づくりにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、小島信夫文学賞を受賞された皆さま、そして「小島信夫文学賞の会」の皆さまのご発展とご活躍を心より祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。



第6回  
小島信夫文学賞  
授賞式にて



岐阜県環境生活部  
次長  
正木秀明様



株式会社  
代表  
鈴木 宏様



財岐阜県教育文化財団  
理事長  
岡本博次様



株式会社  
代表  
高木 有様

中日新聞  
2010年7月2日金



岐阜新聞  
2010年4月14日水

# 第6回

## 小島信夫文学賞 発表

小島信夫文学賞

千田佳代

〔猫ヲ祭ル〕

芳川泰久

〔歓待〕



選評

「強い二作」

吉増剛造

『歓待』（芳川泰久氏著、水声社）と  
『猫ヲ祭ル』（千田佳代氏著、作品社）の  
二作の心読、……心読……という言  
葉の顕れたをみて、（……共通の、分  
母……）というのか：母（ハハ）の気配  
のようなものがあろうとは、イシキに  
は、のほってはいなかつた筈であるのに、  
（……）今から言語化をこころみてみる  
四ヶ月前のこの二作の初読のときに、緊  
迫、……というのか、締付けられる、  
……言葉の密度を、……そうか、犇犇と  
……だ、……（物がおされて鳴るさま、  
……手厳しい、ゆるみのない、……）を、  
しつかりと読みとついたらしいことを、  
心読、……という語彙によつて確認し  
得ていた。ともに、じつに困難な、  
そう、言語の難所に立ち向かわれていて、  
小島賞にふさわしい。芳川泰久氏の、白  
のステーション・ワゴンがやや距離をお  
いたまますと後方を走つてゐる。（歓  
待）一七一页）を眼に強烈な光的印象を  
残したのは、この四月の二日か三日のボ  
ストン近郊のフリーウェイ走行のときには  
であった。千田佳代氏の、外階段の踊り  
場にバスが現れた。（西荻窪）五三頁）  
の外にびくりorぎくりと深い音と心音  
とを覚えたのは、アメリカ独立戦争の地  
Concordであつた。

二十二歳のころの私は、機銃掃射  
をうけた脚で、薄氷をふむ思いで過  
ごしていました。そんなある日読ん  
だ小説が小島信夫の『小銃』でした。  
「私は、キラキラと螺旋をえがいて  
あかるい空の一点を慕う銃口をの  
ぞくと気が遠くなるようだつた」  
そしてシナの女兵士を照準線に入  
れようとあせりながら「女に通う道  
が銃弾の通う道であるように思え  
COncordであつた。

選評

「うろたえ方に魅力」

堀江敏幸

**選考経過** ● 応募作品109篇のうち、最終選考に残ったのは、千田佳代「猫ヲ祭ル」、芳川泰久「歓待」、浅羽一「蟬の声」、宇佐美宏子「裸身」、中野睦夫「不壊の館」の5篇。千田佳代「猫ヲ祭ル」、芳川泰久「歓待」が性格の異なる作品として最後に残り、同時受賞と決まった。岐阜県知事賞は、林正子、松田悠八の新選考委員により、山本健一「擬卵」が受賞作に決定した。  
(敬称略)



千田佳代

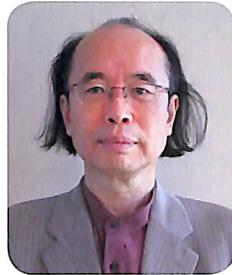
### 略歴

一九三〇	東京生まれ	函館育ち
一九五五	明治大学文学部卒	
一九八五	森灑雄主宰「杉」	同人
一九九三	句集「樹下」	
二〇〇三	共著「姥が辻」	作品社

鄙に住み行くさきざきの曼珠沙華  
この句は、六年まえに田舎に移り  
住んだ秋に、詠んだものです。  
自然に囲まれて暮らすと、むこう  
の声が聞こえるようになりました。  
それを七十七歳の耳がとらえて、む  
かしと今、ゆめと現をつづれ刺して  
『猫ヲ祭ル』を書きました。  
これからも、八十歳の耳、八十五  
歳の目で、むこうからの声を聞いて  
ゆこうと思っています。

そしてシナの女兵士を照準線に入  
れようとあせりながら「女に通う道  
が銃弾の通う道であるように思え  
打て！で銃は肩で躍る。

芳川泰久の「歓待」には、さまざま  
な文学の意匠がよく見えるかたちで提示さ



## 芳川泰久

### 略歴

一九五一年、埼玉県生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了。東京工業大学助教授、日本女子大学教授を経て、現在、早稲田大学文化構想学部教授。著書に「漱石論」(鏡あるいは夢の書法)、「書齋のトリコロール」、「小説愛」、「闇の小説家 バルザック」、「書くことの戦場」、「横断する文学」、「私をソングアクトに連れてって」、「ドゥルーズ キーワード89」(共著)、「歓待」、「村上春樹とハルキムラカミ」等があり、編著に「純愛百選」「ドゥルーズ 千の文学」(近刊予定)等がある。訳書に「ゴブセック 猫打つ猫の店」、「バルト 最後の風景」(共訳)等がある。

読んでいて体が収斂しました。薄い刃を肌にあてられた感覺でした。本当は、戦闘機、銃、銃弾などの言葉は、嫌いでした。それが、なぜか爽やかでこころよく、私の裡に、初めての恋のように浸透しました。私はシナの女兵士に身を重ねて読

んでいたのでした。

後年、江藤淳の解説で、あまりにも幼い読み方をしていた自分に、赤面するのですが『小銃』がその後々の私の人生におとしたかけは、大きかつたと思います。

他方、千田佳代さんの「猫ヲ祭ル」は、言葉を繰り出す際のとまどいを越えたところで書かれている。頁の端々から立ち上がってくるのは、具体的な場面に根付きながら、しかもそこをすり抜けてくる、とてもあたたかくてとてもさみしい空気だ。ある意味で、こちらのほうが「歓待」よりも抽象的だと言えるかもしれない。世界の全く異なる二作品を受賞作とできたことを、素直に喜びたい。

ちょうど『歓待』のゲラを見た後、私は脳梗塞に倒れた。幸い、身体には障害が残らなかつたものの、感情と感覚の制御が利かなくなつた。そのせいか、まるでよく知つてゐるだれかの受賞のようだ。本人がいふべきことではないが、「途方に暮れながら」は、フランスで偶然見た映画の最後に、少年院を脱走した主人公がカメラを見据える場面があつて、その眼に見つめられたことに端を発している。子供のときに迷子になりながら暮れゆく虚空に送つた視線に、数十年後、とらえられる話である。加えて、短篇で、プルースト

の『失われた時を求めて』へのオマージュを書きたかった。左右の二つの道のどつちが正しいのか。引き裂かれて自宅にたどり着けない少年の気持を、中年の自分に重ねたかった。

「ホネガミ」は、母が父方の祖父母の往年の生活の地に、新たな墓地を求めた。その際、遺骨を土へ返す儀式があり、骨と土の混ざる音が記憶に残つていて、その感触を、少子化の行き着く問題を遠景に記した。「歓待」は、外部からの制約なく、好きに書けた。時系列をはつきりさせず、描写の重なりで前後をつくり、約束のホテルに向かう途中で事故に



### 選評

#### 「写生文の復活」

青木 健

今回は、千田佳代氏「猫ヲ祭ル」と、芳川泰久氏「歓待」の二作が受賞作となつた。方法も文章も全く異なる作品でありながら、それぞれに新しさがあり小島信夫文学賞にふさわしいと思われたからである。

「猫ヲ祭ル」は、一人住いの老女が猫と暮らす日々を淡々としながら克明に描いた作品で、これほど鮮やかに猫の姿態を描いたものは、ほかに類を見ないと思われた。ここには、日本の小説のもう一方の出處である写生文が生きて

れ、愛する作家たちへの間接的なオマージュも、あちこちに隠されている。すべての言葉は、すでに誰かに口にされたる。著者はその事実を真摯に受け止めたうえで、自身の表現をつくりだすことによってもまたかくてとてもさみしい空氣だ。ある意味で、こちらのほうが「歓待」よりも抽象的だと言えるかもしれない。世界の全く異なる二作品を受賞作とできたことを、素直に喜びたい。



## 岐阜県知事賞

### 〔擬卵〕



## 山本健一

### 略歴

一九四七	長野市に生まれる
一九七〇	中央大学文学部卒
一九七一	学校法人富田学園奉職
二〇〇七	同学園退職
一九九八	コスマス文学の会 小説の部で奨励賞
二〇〇一	岐阜市文芸祭 小説の部で文芸祭賞
二〇〇三	岐阜県文芸祭 随筆の部で秀作賞

いう作業においてもそうで、読む者の身の程、身の丈においてでしか出来ないし、解らない。文章を書くという作業にはもつと観面に現われる。これは恐ろしいことだ。

全力で書いたものが選に漏れる。当然予想されたことだが、辛い。初めて書き上げたものが落選、と分かった時のショックは特に大きかった。書くという自分の行為が身の程という事実を突きつけているからだ。それは一閃のうちに切り捨てられたようなもので、決定的でもあり破壊的でもあった。

落選は年輪を形成させる基で、もつて敬すべきものである。入選は優れた小説には、必ずしも大ロマンや奇想天外なストーリーが前提要因となるわけではないということを、今回の選考をおおして改めて学ばせていただいた。

「岐阜県知事賞」候補作品の層の厚さを心より祝ぎたい。

### 「熟練者の本格小説」

林 正子

山本健一氏の「擬卵」の題材は、決して明朗なものではない。だが、自然描写、人物描写、人間心理の叙述において、熟練者の本格小説と言えよう。

具体的には、ガンの宣告を機に帰郷した老いた母の介護とともに農業に携わろうとする建築士＝木山の心理が剔抉されている。愛情を抱くことのできなかつた妻子との関係性などが、刻まれるように描写されている。三分の一あたりに登場する「擬卵」という言葉（＝題名）は、卵そつくりの瀬戸物を親鳥が腹の下に一生懸命に温め抱いているイメージと、主人公の生きざまを結びつけたものであるだろう。

題名、主題、描写が連環する、本格的な小説作品の所以である。

る。畏敬さえ抱いている小島信夫の名前が冠された賞をいただくとは、しかできないことをしたつもりであつた。

「歓待」は、現代におけるヴァーチャルリアリティーの小説上の試みといつてもよい方法で、スピード感のある言葉の放出に、「小説」のリアリティへの果敢な問いかけがあつた。

しかし、この新しさは同時に危うさも孕んでいて、それが今後どこへ向つて行くかを見定めたい。二作品の受賞を心より祝いたい。

久しぶりに帰った、学生時代を過ごした自分の部屋。煤けた天井から丸い笠の電球が釣り下がっている。その部屋に電球の橙色の明かりが灯つた、といった感じだろうか。

文学や音楽、絵画といった世界に惹かれつつも、就職という道を選ぶ。その選択には多少の苦衷が伴つていったせいか、何十年もの永い勤め人の生活の折々に、かつて秘かに抱いていたものに流し目を使う。そこに無念さや後ろめたさといった感情が底流にあるせいか、いつか一つの作品をと、半ば人目をはばかるように挑み続ける。そういう一人である。

どんな世界にも奥がある。その奥はなかなか見えない。文学を読むと

## 平成 21・22年度 小島信夫文学賞の会 会員名簿

### ●法人会員

団体名	役職	代表者名	住所	電話番号
岐阜信用金庫	会長	小川二郎	〒500-8833 岐阜市神田町6-11	058-266-1151
株式会社 大垣共立銀行	頭取	土屋 嶽	〒503-0887 大垣市郭町3-98	0584-74-2111
学校法人 篠田学園	理事長	篠田 靖之	〒502-0006 岐阜市栗野西1-10	058-237-3601
ヨツハシ株式会社	社長	四橋 英児	〒501-1136 岐阜市黒野南1-90	058-293-1010
端元博保法律事務所	所長	端元 博保	〒500-8804 岐阜市京町2-2	058-263-1433
アピ株式会社	代表取締役会長	野々垣 孝	〒500-8345 岐阜市菊地町4-25	058-271-3838
株式会社 ユニオン	代表取締役	村橋 元	〒501-0106 岐阜市西河渡2-57	057-253-3111
株式会社 田 幸	代表取締役	田島 一男	〒500-8285 岐阜市南鶴5-52-1	058-271-6661
株式会社 みどり塗装工業所	代表取締役	清水 憲明	〒501-3210 関市尾太町88	0575-23-4333
岐阜車体工業株式会社	代表取締役会長	星野 鉄夫	〒509-0146 各務原市鵜沼三ツ池町6-455	058-384-2161
文藝・学術出版 鳥影社	代表取締役	百瀬 精一	〒392-0012 長野県諏訪市四賀229-1	050-3532-0474
株式会社 文溪堂	代表取締役会長	水谷 晃三	〒501-6238 羽島市江吉良町江中7-1	058-398-1111
株式会社 作品社	編集取締役	高木 有	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-7-4	03-3262-9753

### ●個人会員

氏名
今井 春昭
水谷 雄二
青木 健
角田 茉瑳子
篠田 靖之
清水 昭男
玉井 康式
水谷 三佐子
四橋 昌彦
吉村 登
尾関 忠雄
清水 節子
井上 知二
杉山 史
小林 良之
早川 美智子
大野 利也
増田 勝義
石井 直子
印内 美和子
松田 悠八
徳住 潤子
林 正子
早川 覚

氏名
村橋 義弘
野澤 真弓
村山 りおん
河合 郁夫
黒田 淑子
吉住 侑子
前田 昭彦
大黒 恵子
石井 竜子
福井 康博
宇佐美 宏子
山本 孝夫
籠原 明子
鳥居 正彦
高井 泉
島田 つき子
永田 昌彦
三宅 雅子
今井 明子
塩谷 義憲
長谷川 誠
石田 準一
鋤崎 雅文
岡田 武司

氏名
篠田 正男
曾貝 寿
杉山 裕明
坪内 堃
山田 佳孝
小島 正樹
三浦 清宏
山崎 勉
片桐 武司
松岡 克己
松波 茂樹
安藤 元一
広瀬 和孝
篠田 薫
岡本 博次
野々垣 孝
千田 佳代
芳川 泰久
山上 強志
間瀬 昇
杉山 幹夫
村橋 元
大澤 泰一
吉田 房生

(2010年9月30日現在)

## 平成 22年度 小島信夫文学賞の会

### ●顧問・理事

役職	氏名	住所	電話番号	備考
名誉会長	古田 肇	岐阜市萩田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県知事
顧問	細江茂光	岐阜市神田町1丁目11番地	058-265-4141	岐阜市長
顧問	森 真	各務原市那加桜町1丁目69番地	058-383-1111	各務原市長
顧問	堀江博海	岐阜市神田町8丁目26番地	058-265-2111	(株)十六銀行 領取
顧問	小川二郎	岐阜市神田町6-11	058-266-1151	岐阜信用金庫 会長
顧問	土屋 嶽	大垣市郭町3-98	0584-74-2000	(株)大垣共立銀行 領取
顧問	杉山 幹夫	岐阜市今小町10	058-264-1151	(株)岐阜新聞社 代表取締役会長
顧問	岡本博次	岐阜市萩田南5-14-13 岐阜県民ふれあい会館2棟9階	058-277-1139	財團岐阜県教育文化財団 理事長
顧問	吉田 豊	岐阜鏡島南4丁目3-17号	058-251-2224	県芸術文化会議 会長
会長	今井 春昭	各務原市鶴沼羽場町6-274-10	058-384-8531	岐阜教育会 会長
副会長	水谷 雄二	岐阜市長良3160-38	058-233-8481	(株)文溪堂 相談役
副会長	三宅 雅子	大垣市林町7-282-1	0584-78-4573	作家
副会長	青木 健	刈谷市一ツ木町4丁目10-4 パークヒルサカイA-101	0566-24-3776	作家・文芸評論家
常任理事	角田 茉瑠子	岐阜市金園町1-5	058-262-1527	児童文学
常任理事	篠田 靖之	岐阜市粟野西1丁目10	058-237-3601	(学)篠田学園理事長
常任理事	清水 昭男	岐阜市上加納山4723-58	058-247-8428	山田(智)氏友人
常任理事	杉山 史	岐阜市長良73-1	058-231-0161	鶴匠の家 すぎ山 代表社員
常任理事	玉井 康式	岐阜市三田洞東2丁目6-9	058-237-3553	社会福祉法人 瑞原会 監事
常任理事	水谷 三佐子	名古屋市天白区八事山364	052-833-4461	中部ベンクラブ 副会長
理事	片桐 武司	岐阜市高森町5-3	058-263-2595	岐阜済美学院 理事長
理事	飯沼 隆司	岐阜市金園町10丁目33-1	058-245-6776	財團岐阜市教育文化振興事業団理事長
理事	今井 裕夫	岐阜市上土居743-80	058-231-7250	京都 橋大学教授
理事	河田 忠	各務原市上中屋町2丁目271	058-382-1482	詩人
理事	木村 容子	岐阜市美園町5-43	058-266-0034	俳人
理事	黒田 淑子	岐阜市長良3089-21	058-232-6360	歌人
理事	砂押 宏行	岐阜市京町2-3	058-264-4611	NHK岐阜放送局 岐阜支局長
理事	田中 茂宏	大垣市久瀬川町7丁目5-1	0584-78-5616	サンメッセ(株)
理事	野々垣 孝	岐阜市菊地町4-25	058-273-6075	アビ(株) 会長
理事	林 正子	岐阜市柳戸1-1	058-293-3016	岐阜大学地域科学部教授
理事	松田 悠八	東京都世田谷区玉川台2-15-7	03-3700-2974	作家
理事	丸山 輝城	中津川市東宮町1番2号	058-273-8566	丸山木材工業(株) 代表取締役
理事	村瀬 和子	岐阜市菊水町2-20	058-231-2607	詩人
理事	山田 賢二	大垣市藤江町3-149-2	0584-73-4767	詩人
監事	端元 博保	岐阜市水海道2-3-21	058-247-6833	弁護士
監事	田中 英俊	岐阜市如月町2-11-2	058-251-1835	田中会計事務所 税理士
事務局	四橋 昌彦	岐阜市黒野南1丁目90	058-293-1011	ヨツハシ(株) 専務
オブザーバー	中島 富士雄	岐阜市萩田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県人づくり文化課 課長
オブザーバー	村瀬 康仁	岐阜市萩田南2丁目1番1号	058-272-1111	岐阜県人づくり文化課 課長補佐

### 『小島信夫文学賞』趣意書

郷土岐阜を代表する作家小島信夫氏は、敗戦後のアメリカ占領時代をえがいた「アメリカンスクール」(芥川賞受賞)で文学的スタートを切り、高度経済成長時代の家庭の崩壊をえがいた「抱擁家族」(谷崎賞受賞)で作家的起步を不動のものとしました。その後実験的手法の「別れる理由」(野間文芸賞)「濃濃」などで小説形式を広げ、近作「各務原 名古屋 国立」にいたるまでつねに現代文学の最先端を切り開いてきました。

私達は、この郷土の誇りとする作家小島信夫氏の文学的貢献を顕彰すべく、「小島信夫文学賞」の準備をすすめ、平成十年の文化フォーラム「物語」ということを機に機運も高まり「第十四回国民文化祭・ぎふ99」開催年の翌年創設、全国公募も「第6回」を数え、広く認知される賞となりました。

『小島信夫文学賞』は、私達に現在と未来を問う新しい言葉の方法による新人作家を発掘する文学賞です。岐阜から発信して広く全国に公募し、埋もれた未知の才能にスポットを当てるべく創設したものです。

県内外の多くのご支援をお願い申し上げる次第です。

平成二十二年四月

小島信夫文学賞の会

# 小島信夫文学賞の会・会則

## 第一章 総則

### 第一条 【名称】

本会は「小島信夫文学賞の会」という。

### 第二条 【所在地】

本会は事務所を左記におく。

岐阜市黒野南一丁目九十番地

ヨツハシ株式会社内月刊ぶらざ編集室

「小島信夫文学賞の会」事務局

T E L (○五八)二九三一〇一

F A X (○五八)二九三一〇八

理事会が決定した場合は、本会は支部を設けることができる。

### 第三条 【目的】

本会は小島信夫文学賞を顕彰する為、岐阜から発信して広く全国に作品を公募し、新人作家の発掘を目指す。

### 第四条 【事業】

1、本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。  
①「小島信夫文学賞」を運営する為の資金集め、広報活動その他の実務。  
②文芸講演、公開講演などの開催、其催及び後援。  
③受賞作品、機関誌、会報などの刊行物の編集・刊行。  
④その他、理事会が必要と認める事業。

### 第五条 【会員】

本会の会員は、個人会員及び法人(法人格をもつたない団体を含む以下同じ)会員とする。  
第六条 【入会資格】  
個人であると法人であると問わず、「小島信夫文学賞」に賛同する者は誰でも、本会の会員になることができる。

### 第七条 【入会手続き】

本会に入会しようとする者は理事会が定める入会申込書に署名捺印して、年会費と共に本会の事務局に提出するものとする。この場合、法人が入会を申し込み時は、その代表者を届け出るものとする。尚、法人会員の代表者が変更したときは速やかにその

旨を届け出るものとする。

### 第八条 【会費】

会員は次のとおりの年会費を支払うものとする。

1、個人会員 (ただし、学生は半額とする)

2、法人会員 一口三万円

3、賛助会員 五千円

4、個人会員 一万円

5、法人会員 一口三万円

6、監事 二名

7、事務局長 二名

8、名譽会員・顧問 若干名

四十名以内  
(うち、事務局長 一名)  
5、監事 二名  
6、事務局長 二名  
7、名譽会員・顧問 若干名

### 第九条 【会費の支払い時期】

本会の年会費は毎年年度の初めに支払うものとし、年度の途中で入会する時は入会申込書を提出する際、その年度の年会費を支払うものとする。

### 第十条 【会員の権利】

会員は次の権利を持つものとする。

1、総会に出席して、各自一票の議決権を行使すること。ただし、議決権は代理人により行使することができ、また、法人会員はあらかじめ届け出た代表により議決権を行使するものとする。但し賛助会員は議決権を持たないものとする。

2、本会が刊行する刊行物の無料配布を受けること。

3、本会が主催、共催、後援する催しの案内を受け、参加すること。ただし、参加費は別途支払わなければならない。

4、その他、理事会が必要と認める事業。

### 第十二条 【退会】

会員は、理事会会員に退会届を提出して退会することができる。

会員が会費を支払わない時は、理事会の決議により退会を勧告することができる。退会勧告を受けて後、三ヶ月を経てなお会費を支払わない時は、退会勧告の日をもって退会したものとみなす。会員が本会の名前を著しく傷つけた時、または本会の活動に支障を生じるような行動をした時は、理事会の決議により退会を勧告することができる。

### 第十三条 【任期】

役員の任期は選任の日から二回目の定時総会の終了までとする。ただし、再任を妨げない。

役員の増員または欠員補充の為選任された役員の任期は、現存する役員の任期と同一とする。

### 第十四条 【役員の任務】

会長は、本会を代表し、理事会の定めた方針に従い会務を総括する。

副会長は、会長を補佐し、会長に差し支えがある時は、あらかじめ定めた順序に従い、都度役員と常任理事から構成する常任理事会を招集して行う。

監事は本会の会計及び資産を監査し、監査の結果を総会及び理事会に報告する。

### 第十五条 【任期】

役員の任期は選任の日から二回目の定時総会の終了までとする。ただし、再任を妨げない。

役員の増員または欠員補充の為選任された役員の任期は、現存する役員の任期と同一とする。

### 第十六条 【総会】

本会は、毎年、会計年度の終了後二ヶ月以内に岐阜市内において定時総会を開催する。

理事会が必要と認めた時、または会員の三分の一以上からの要求があつた時は臨時総会を開催する。

### 第十七条 【決算報告】

会長は、毎年度の定時総会において前年度の決算報告をするものとする。

### 第十八条 【理监事会】

理事会は、この会則に定めたもの他、本会の事業を実行する為の施策を決定する。

理事会は会長が招集し、理事の過半数の出席(他の理事に対する委任状による出席を含む)があつた時に成立する。

### 第十九条 【経費】

本会の経費は、会費、寄付金その他をもつてあるものとする。

### 第二十条 【会計年度】

本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

### 第二十一条 【決算報告】

会長は、毎年度の定時総会において前年度の決算報告をするものとする。

### 第二十二条 【会則に定めない事項】

この会則に定めない事項については、民法の法人に関する規定を準用する。

### 第二十三条 【最初の役員の選任とその任期】

最初の役員は創立総会において選任する。

ただし、選任に際して発起人会は最初の役員の候補者を推薦することができる。

最初の役員の任期は創立の日の翌々年度に開催される定時総会の終了までとする。

### 第二十四条 【最初の会計年度】

最初の会計年度は創立の日から翌年の三月三十日までとする。

### 第二十五条 【施行期日】

この会則は本会の創立の日から施行する。

会の議決を要する。

1、予算及び決算の承認

2、会務運営の基本的事項の決定

3、この会則の改正

4、解散

5、その他理事会が必要と定めた事項

6、監事 二名

7、事務局長 二名

8、名譽会員・顧問 若干名

9、理监事会 二名

10、会長 一名

11、副会長 一名

12、監事 二名

13、事務局長 二名

14、名譽会員・顧問 若干名

15、理事会 二名

16、監事 二名

17、事務局長 二名

18、名譽会員・顧問 若干名

19、理事会 二名

20、監事 二名

21、事務局長 二名

22、名譽会員・顧問 若干名

23、理事会 二名

24、監事 二名

25、事務局長 二名

26、名譽会員・顧問 若干名

27、理事会 二名

28、監事 二名

29、事務局長 二名

30、名譽会員・顧問 若干名

31、理事会 二名

32、監事 二名

33、事務局長 二名

34、名譽会員・顧問 若干名

35、理事会 二名

36、監事 二名

37、事務局長 二名

38、名譽会員・顧問 若干名

39、理事会 二名

40、監事 二名

41、事務局長 二名

42、名譽会員・顧問 若干名

43、理事会 二名

44、監事 二名

45、事務局長 二名

46、名譽会員・顧問 若干名

47、理事会 二名

48、監事 二名

49、事務局長 二名

50、名譽会員・顧問 若干名

51、理事会 二名

52、監事 二名

53、事務局長 二名

54、名譽会員・顧問 若干名

55、理事会 二名

56、監事 二名

57、事務局長 二名

58、名譽会員・顧問 若干名

59、理事会 二名

60、監事 二名

61、事務局長 二名

62、名譽会員・顧問 若干名

63、理事会 二名

64、監事 二名

65、事務局長 二名

66、名譽会員・顧問 若干名

67、理事会 二名

68、監事 二名

69、事務局長 二名

70、名譽会員・顧問 若干名

71、理事会 二名

72、監事 二名

73、事務局長 二名

74、名譽会員・顧問 若干名

75、理事会 二名

76、監事 二名

77、事務局長 二名

78、名譽会員・顧問 若干名

79、理事会 二名

80、監事 二名

81、事務局長 二名

82、名譽会員・顧問 若干名

83、理事会 二名

84、監事 二名

85、事務局長 二名

86、名譽会員・顧問 若干名

87、理事会 二名

88、監事 二名

89、事務局長 二名

90、名譽会員・顧問 若干名

91、理事会 二名

92、監事 二名

93、事務局長 二名

94、名譽会員・顧問 若干名

95、理事会 二名

96、監事 二名

97、事務局長 二名

98、名譽会員・顧問 若干名

99、理事会 二名

100、監事 二名

101、事務局長 二名

102、名譽会員・顧問 若干名

103、理事会 二名

104、監事 二名

105、事務局長 二名

106、名譽会員・顧問 若干名

107、理事会 二名

108、監事 二名

109、事務局長 二名

110、名譽会員・顧問 若干名

111、理事会 二名

112、監事 二名

113、事務局長 二名

114、名譽会員・顧問 若干名

115、理事会 二名

116、監事 二名

117、事務局長 二名

118、名譽会員・顧問 若干名

119、理事会 二名

120、監事 二名

121、事務局長 二名

122、名譽会員・顧問 若干名

123、理事会 二名

124、監事 二名

125、事務局長 二名

126、名譽会員・顧問 若干名

127、理事会 二名

128、監事 二名

129、事務局長 二名

130、名譽会員・顧問 若干名

131、理事会 二名

132、監事 二名

133、事務局長 二名

134、名譽会員・顧問 若干名

135、理事会 二名

136、監事 二名

137、事務局長 二名

138、名譽会員・顧問 若干名

139、理事会 二名

140、監事 二名

141、事務局長 二名

142、名譽会員・顧問 若干名

143、理事会 二名

144、監事 二名

145、事務局長 二名

146、名譽会員・顧問 若干名

147、理事会 二名

148、監事 二名

149、事務局長 二名

150、名譽会員・顧問 若干名

151、理事会 二名

152、監事 二名

153、事務局長 二名

154、名譽会員・顧問 若干名

155、理事会 二名

156、監事 二名

157、事務局長 二名

158、名譽会員・顧問 若干名

159、理事会 二名

160、監事 二名

161、事務局長 二名

162、名譽会員・顧問 若干名

163、理事会 二名

164、監事 二名

165、事務局長 二名

166、名譽会員・顧問 若干名